

# PRESS RELEASE

報道関係者各位

2020年4月1日  
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ			
都市型コンパクトタウン	都市再生・地方創生	グローバルへの取組み	不動産テック
働き方改革	健康・介護ニーズ	社会課題	定期報告・レポート

## 野村不動産が開発する高機能型物流施設「Landport」シリーズ Landport 青梅Ⅱ、厚木愛川町、習志野の3棟 満床稼働開始のお知らせ 特定業種の利用性向上に応えるカテゴリマルチ施設の開発を促進

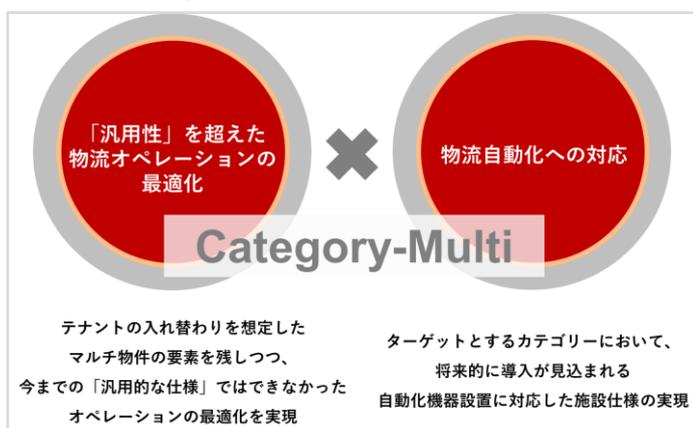
野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：宮嶋 誠一、以下「当社」）は、当社が手掛ける高機能型物流施設「Landport」シリーズについて、2020年3月にLandport 青梅Ⅱ、Landport 厚木愛川町、Landport 習志野の3棟がいずれも予定通り竣工し、満床にて稼働開始したことをお知らせします。

当社はこれまで「Landport」シリーズについて、2018～2020年度における9棟（総延床面積：約185,000坪）、総投資額約1,100億円の事業計画※<sup>1</sup>に基づき事業を推進してまいりました。当社施設計画のコンセプトや開発立地への高い評価と旺盛な顧客ニーズ環境を背景として、今般竣工を発表した3物件および来年度供給予定の2物件を含む、計8物件について、リースアップが順調に進んでいます。※<sup>2</sup>

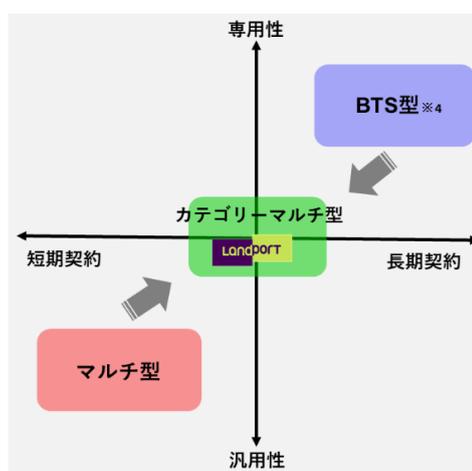
### ■「Landport」シリーズの特徴について

「Landport」シリーズは、ご入居いただくお客様の物流オペレーション最適化を目指し、通常のマルチテナント型物流施設の開発に加え、カテゴリマルチ型※<sup>3</sup>物流施設の開発を推進しており、入居企業の業種（＝カテゴリ）を物件毎あるいはフロア毎に特定し、一般的な汎用スペックにカテゴリ特有の機能を標準仕様として付加した施設設計を行っています。また、用地取得段階におけるマーケティングと既存物件の運営ノウハウに基づき、開発エリアに適合するお客様のカテゴリを設定し、汎用性を超えたプラスアルファの付加価値の提供を目指しています。

【カテゴリマルチ概念図】



【カテゴリマルチの位置づけ】



※<sup>1</sup>：「2018年4月より始まる3か年において、新たに9棟・投資総額約1,100億円の事業化を決定」 <https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2017122101374.pdf>

※<sup>2</sup>：「Landport越谷」は、マーケットニーズの変化による施設計画・竣工時期変更を行っています

※<sup>3</sup>：利用するテナントの業種（＝カテゴリ）を物件毎、あるいはフロア毎に特定したマルチテナント型物流施設のこと

※<sup>4</sup>：BTS…Build To Suitの略。テナントの要望に応じて建築された「オーダーメイド型」の物流施設のこと

あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

## ■各物件詳細について

### <Landport 青梅Ⅱ>

飲料・重量物を取り扱う業種を対象としたカテゴリーマルチコンセプトを採用。マルチ型施設設計を基本にテナントの要望を取り組む協議を計画早期から行い、鴻池運輸株式会社にて1棟利用をいただいています。

所在地	東京都青梅市末広町二丁目9-13
交通アクセス	圏央道「青梅」ICから約2.5km、JR青梅線小作駅より徒歩10分
敷地面積／延床面積	40,720.58㎡／67,048.78㎡
竣工	2020年2月
外観（全景）	
内観 左：カフェテリア 右：1F 荷捌き場/低床式倉庫	 
地図	

あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

## <Landport 厚木愛川町>

BCP 対応として免震、非常用発電機を採用したほか、近年ニーズが高まっている危険物倉庫の附設を実施。また、庫内利用者の利便性の向上として、複数カフェテリアの設置やミニコンビニ設置を採用し、アサヒロジ株式会社をメインとした複数テナント様よりニーズをいただき、満床にて竣工しています。

所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津 4 0 3 8 - 1
交通アクセス	首都圏中央連絡自動車道「相模原愛川町」IC より約 3.0km JR 相模線「原当麻」駅出入口 2 より約 4.4km
敷地面積／延床面積	39,853.61 m <sup>2</sup> ／95,572.24 m <sup>2</sup>
竣工	2020 年 3 月
外観（全景）	
内観 左：カフェテリア 右：危険物倉庫（画像手前）	 
地図	

あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

## <Landport 習志野>

当社物流施設では単体として最大級（延床面積：約 43,200 坪）。1フロア約 7,000 坪各階接車の 5 階建造で、各フロアの規模を考慮しコアを 3 エリアに分散設置し、庫内から倉庫への移動距離を予め考慮した設計を採用しています。開発当初より EC 関連業種を想定した企画を進め、株式会社 ZOZO をメインとした複数テナント様よりニーズをいただき、現在 95%稼働となっており、残区画も内定しています。

所在地	千葉県習志野市茜浜 3 - 7 - 2
交通アクセス	JR 京葉線「新習志野」駅 約 3.0km、東関東自動車道「谷津船橋」IC 約 4.0km
敷地面積／延床面積	61,725.82 m <sup>2</sup> ／142,735.13 m <sup>2</sup>
竣工	2020 年 3 月
外観（全景）	
内観 左：カフェテリア 右：倉庫内部	
地図	

あしたを、つなぐ